

様式 11-1

事業報告書  
(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

1 医療法人の概要

(1) 名称

(社会) 医療法人 若生会

① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )

② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人

☐ 出資額限度法人 ☐ その他

③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地

兵庫県神戸市垂水区舞子台7丁目2-1

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和36年2月25日

(4) 設立登記年月日 昭和36年2月27日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	塩谷 文紀	舞子台病院理事長
常務理事	原口 侑子	宮村・井桁法律事務所弁護士
理 事	森田 瑞穂	介護老人保健施設施設長
監 事	吉村 弦	あさひ法律事務所弁護士

- 注) 1. 社会医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。  
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)  
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	舞子台病院 2810800934	神戸市垂水区舞子台7丁目2-1	一般病床 60床 療養病床 60床 [医療保険 120床] [介護保険 0床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設	老人保健施設舞子 台	神戸市垂水区舞子台7丁目2-1	入所定員 100名 通所定員 30名
介護医療 院			入所定員 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。  
 2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。  
 3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。  
 4. 介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
訪問看護ステーション舞子台	神戸市垂水区舞子台7丁目2-1	
居宅支援まいこだい	神戸市垂水区舞子台7丁目2-1	
舞子台あんしんすこやかセンター【神戸市より委託】	神戸市垂水区舞子台7丁目3-7	
舞子台ヘルプステーション	神戸市垂水区舞子台7丁目2-1	
舞子台グループホーム	神戸市垂水区舞子台7丁目3-6	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

		会議名	議決又は同意事項
令和5年	5月29日	社員総会・理事会	第62期決算の承認の件
令和5年	8月1日	理事会	第62期決算内容の監査結果
令和5年	8月21日	社員総会・理事会	借入契約の期限更新の件
令和5年	8月21日	社員総会・理事会	介護老人保健施設舞子台の管理者選任の件
令和5年	8月21日	社員総会・理事会	借入契約の期限更新の件
令和6年	3月25日	社員総会・理事会	令和6年度の事業計画及び収支予算の決定
令和6年	3月25日	社員総会・理事会	理事長・常務理事選出

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。  
2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

令和	年	月	日	(施設名・事業所名)
令和	年	月	日	該当ありません
令和	年	月	日	

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

令和	年	月	日	(指定内容)
令和	年	月	日	該当ありません
令和	年	月	日	

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

## 様式11-2

法人名 医療法人 浩生会

※医療法人整理番号 28036

所在地 神戸市垂水区舞子台7丁目2-1

## 財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

1. 資 産 額	760,601 千円
2. 負 債 額	979,908 千円
3. 純 資 産 額	△ 219,307 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	643,526
B 固 定 資 産	117,075
C 資 産 合 計 (A+B)	760,601
D 負 債 合 計	979,908
E 純 資 産 (C-D)	△ 219,307

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
 建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人 浩生会

※医療法人整理番号 28 936

所在地 神戸市垂水区舞子台7丁目2-1

## 貸 借 対 照 表

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	643,526	I 流 動 負 債	573,108
現金及び預金	265,199	支 払 手 形	
事 業 未 収 金	346,616	買 掛 金	52,286
有 価 証 券		短 期 借 入 金	409,000
た な 卸 資 産	8,022	未 払 金	3,750
前 渡 金		未 払 費 用	78,625
前 払 費 用	12,176	未 払 法 人 税 等	72
繰 延 税 金 資 産		未 払 消 費 税 等	2,584
その他の流動資産	11,512	繰 延 税 金 負 債	
II 固 定 資 産	117,075	前 受 金	120
1 有 形 固 定 資 産	87,734	預 り 金	365
建 物	10,428	前 受 収 益	
構 築 物	51,778	〇 〇 引 当 金	
医 療 用 器 械 備 品	3,364	その他の流動負債	26,307
その他の器械備品	20,681	II 固 定 負 債	406,800
車 両 及 び 船 舶	0	医 療 機 関 債	
土 地		長 期 借 入 金	400,000
建 設 仮 勘 定		繰 延 税 金 負 債	
その他の有形固定資産	1,484	〇 〇 引 当 金	
2 無 形 固 定 資 産	3,229	その他の固定負債	6,800
借 地 権		負 債 合 計	979,908
ソ フ ト ウ ェ ア	1,703	純 資 産 の 部	
その他の無形固定資産	1,526	科 目	金 額
3 その他の資産	26,112	I 基 金	
有 価 証 券		II 積 立 金	△ 219,307
長 期 貸 付 金		代 替 基 金	
保有医療機関債		別 途 積 立 金	6,240
その他長期貸付金		繰 越 利 益 積 立 金	△ 225,547
役職員等長期貸付金		III 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
長期前払費用		その他有価証券評価差額金	
繰 延 税 金 資 産		繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	
その他の固定資産	26,112	純 資 産 合 計	△ 219,307
資 産 合 計	760,601	負 債 ・ 純 資 産 合 計	760,601

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適當であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

法人名 医療法人 浩生会  
所在地 神戸市垂水区舞子台7丁目2-1

※医療法人整理番号 28036

損 益 計 算 書  
(自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		1,898,243
2 事業費用	1,885,508	
(1)事業費	1,885,508	
(2)本部費		
本来業務事業利益		12,735
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		230,035
2 事業費用	253,843	
附帯業務事業損失		△ 23,808
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業損失		△ 11,073
II 事業外収益		77,316
受取利息		27
その他の事業外収益		77,289
III 事業外費用	16,937	
支払利息	13,056	
その他の事業外費用	3,880	
経常利益		49,306
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失		7,500
税引前当期純利益		41,806
法人税・住民税及び事業税		
法人税等調整額		72
当期純利益		41,734

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。  
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 医療法人 浩生会

所在地 神戸市垂水区舞子台7丁目2-1

※医療法人整理番号

28036

該当なし

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内 容	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業 者との関 係	取引の内 容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

- (注) 1 関係事業者ごとに記載すること。  
2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。  
近親者である場合には続柄を記載する。  
3 次に定める取引については上記の注記を要しない。  
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。  
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い  
4 該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

## 監事監査報告書

医療法人浩生会 社員総会 御中

私は、医療法人浩生会の令和5年会計年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。

その結果につき、以下の通り報告致します。

### 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況の聴取並びに重要な決済書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

### 記

#### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄付行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄付行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄付行為）に違反する重大な行為は認められませんでした。

#### 付記事項

「貸付金及び受取利息の内訳書」に堀口いずみ氏外8名に対する貸付金（授業料返還等）が計上されている点については、既に返還免除の条件が成就している債務者、返還を求めるべき債務者を精査し、各債務者の状況に応じて回収または償却処理を実施する必要があると考えます。

以上

令和6年6月12日

医療法人浩生会

監事 吉 村

弦